

防災訓練

2019年9月2日（月）



9月2日、1・2年生合同で防災訓練を行いました。

先日も九州で大雨による被害が出たばかり。冠水で孤立した病院の奮闘をニュースで見た人も多いでしょう。いつどこで災害が起きてもおかしくないと言われるいま、防災訓練を積み重ねることは看護学生にとって特別な意味を持ちます。なぜなら、災害時に看護師・看護学生は患者さまや地域住民の方々の命を守る役割を担うからです。より多くの方を救うためには、まずは自分の身を守る必要があります。

今年は、東日本大震災で実際に避難・救護活動を行った看護学生の実話をDVDで見たり、ハザードマップの見かたを学んだりしながら、災害時に自分の身を守るために必要な一般的な備えと、医療者に求められる心づもりについてみなさんに考えてもらいました。訓練の時間では、地震と火事が発生した場合を想定し「シェイクアウト訓練」と「煙体験」を実施。特別な装置を使い、煙が充満し視界が遮られた状態での避難を体験してもらいました。その後「消火器・消火栓の使用方法」の復習や、非常食の配食訓練を実施し、本日の訓練は終了です。

救護技術だけが看護ではないはず。 “いざという時、看護学生として自分に何ができるのか” 自分自身に問いかけながら、日々看護の学びを積み重ねていってほしいです。